



中小学校から巴波川へ

ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会 会長 森田 弘

「ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会」が発足して、はや5年が過ぎました。その間、ほたるが飛び交い多くの皆様に感動を与えることが出来ました。これも地域・学校・PTAの皆さんのご協力の賜物と大変感謝申し上げます。

発足当時ほたるの知識・生態など何一つわかりませんでした。非常に不安なまま作業が始まりました。

然し、将来「巴波川へほたるを甦らせよう。」という中小学校の児童の夢のため、多くの方々の協力により毎年中小学校のビオトープにほたるを飛ばすことが出来ました。中地区ほたるを観る会を開催し、その活動を通して今や知識・生態はもちろん、ほたるの会の活動が充実し他地域のほたるの団体とも交流するようになりました。そして現在子供たちの夢が地域の方々の夢ともなってきました。

今年は夢を実現させるための第一歩を踏み出す年にしたいと思います。巴波川での活動です。活動内容はまだ決まっていますが、皆さんの出来ることから活動し、ほたるを飛ばすための環境づくりが出来ればと思います。皆さんの活動が大きな成果になるように努力していくつもりです。今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。

ほたるのビオトープに寄せて

中小学校長 青木 幸子

今年度4月1日に小山市立豊田北小学校より赴任しました青木幸子です。どうぞよろしくお願ひします。

平成13年度にPTA・地域及び行政の方々のご協力ご支援により「田んぼの学校」が設立され、今年度で5年目になります。主な活動は、稲作体験活動、水辺のビオトープ、ほたるのビオトープ活動です。

特にほたるのビオトープ活動は、児童がほたる飛び交う中地区にしたいと考えたことから「ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会」が設立され、様々な活動に取り組んでいます。

今年度も、6月10日～12日に「中地区ほたるを観る会」を実施する予定です。地域の皆様ぜひおいでください。

3年間の素晴らしい日々感謝

前中小学校長 大熊 久子

素直な子供たち、教育熱心で協力的な保護者、前向きで研究熱心な教職員、物心両面の支援を惜しまない地域の人々。

多くの人達に支えられた恵まれた環境の中で中小ならではの教育が出来たこの3年間は、かけがえのない充実した日々でした。

また多くのことを学んだ日々でもありました。人生の先輩方の何気ない言動は、経験を通して身につける知恵の大切さを物語っていました。「ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会」の方々の献身的な活動は、人として最も大切な心の有様を教えてくださいました。ほたるを介して地域がひとつになれることが実感できたうれしさも忘れられません。

3年間の素晴らしい日々感謝いたします。ありがとうございました。

「ほたるを観る会」までの1年

～学校・地域・PTAの活動を追って～

ほたるを観る会は、子供と大人と一緒に活動し、共にほたるへの想いを込めてつくりあげた地域みんなのお祭りなのです。



【捕獲、そして採卵】

「ほたるを観る会」が終わると、次の年に向けて、ほたるを捕獲し、産卵をさせます。今の環境では、人工飼育をしないと種の存続が保てないのです。本当は中地区の自然の中で繁殖できるといいのですが…。その日を夢見て、貴重な卵を採卵します。昨年は、5年生も捕獲に参加し、産卵をさせることに成功しました。

【飼育】

産卵後、数週間でほたるは孵化します。ほたるの会飼育班のみなさんも、連絡を取り合いながらそれぞれ産卵をさせていますが、孵化の連絡が入ると、我が子の誕生を祝うかのような温かいメッセージが飛び交います。ほたるを通して、同時に人と人の心のネットワークが作られていきます。

産卵後いよいよ9ヶ月に及ぶ飼育活動が始まります。夏の水温調整や、水の取り替え、えさになるカワニナの採集など、大変な手間をかけて、ほたるは大事に大事に育てられます。

飼育についての知識・技術を学ぶため、市内在住の池田氏、埼玉県の所沢文化幼稚園などにもおじゃましました。

【ほたるビオトープの整備】

「ほたるを観る会」をたくさんの方々に楽しんでいただくために、そして何よりほたるが蛹化・羽化するのにより適した環境にするために、今年もほたるビオトープの様々な整備が行われました。施設班を中心に、PTAや児童も参加して作業は進みました。

ビオトープの補修塗装

ビオトープの骨組みの汚れを落とし、再塗装が施されました。

ビオトープ内の草取り・整備・網掛け

卒業を前にして6年生が会の役員や先生とともに奉仕作業に参加してくれました。子供たちの愛校心が態度に表れてほのぼのとした気分で作業が進みました。

卒業奉仕としてビオトープ整備作業に参加しました。草取りをしながら「今年もほたるが元気に飛んでいる姿を見たいな。」と思いました。中学校に行ったら成長するほたるは見られなくなってしまいうけれど、今年もほたるが飛び交うところを見たいです。

そして、中地区にほたるが戻ってきてほしいと思います。
(旧6年 安良岡 舞美)

私はビオトープの草取りをしました。たくさん生えていたので大変でした。でも一生けん命やることでほたるの幼虫が住みやすくなるのだなあと思いました。地域の方々も参加してくださったので網掛けもすぐ終わりました。みんなの協力で今年のほたるを観る会ではきっとたくさんほたるが飛ぶことと思います。私は中学生になりますが6月のほたるを観る会には見に来たいと思います。
(旧6年 池沢 恵梨菜)

ビオトープ土入れ

ほたるの幼虫が蛹になる環境を整えるため、柔らかい土を入れました。



【放流式】

今年も、地域の人達によって飼育されたほたるの幼虫の放流式が、市長様をはじめたくさんのご来賓をお迎えして行われました。当日はあいにくの天気だったため、源氏ボタルの幼虫150匹が放流されました。後日、源氏ぼたる・平家ぼたるの幼虫（所沢文化幼稚園様からの寄贈）が追加放流されています。

自然のきびしさ

ホタルの放流式ではぼくたちが幼虫をカップに入れて準備しました。スポットで幼虫を吸い取るのが楽しかったです。ホタルの会の人たちが教えてくださったので勉強になりました。放流式ではビオトープに代表の人がホタルの幼虫を放流しました。1匹の幼虫がヤゴに食べられました。ざんこくな光景を見てかわいそうだと思いました。自然のきびしさを感じました。

6年

願いをこめて

今年でホタルの活動は4回目です。今回はあいにく雪だったので代表の人が放流しました。各学年代表と先生たちと来賓の方々です。幼虫を2匹入れたプリンカップを用意したのは、私たち当時の5年生です。児童全員「6月には光って飛んでね。」という願いをこめたからたくさん飛ぶと思います。

6年

ほたるを観る会

☆ 6月10日(金)

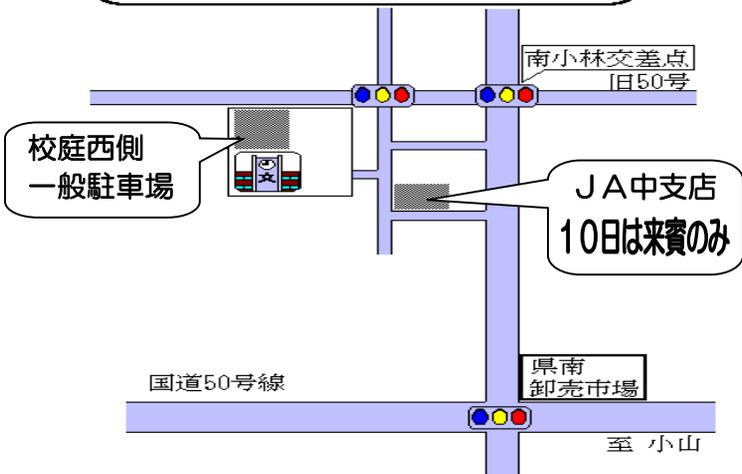
イベント …… 18:00 ~ 18:40
 式典 …… 19:00 ~ 19:30
 観る会 …… 19:40 ~ 21:00

☆ 6月11日(土)・12日(日)

観る会 …… 19:30 ~ 21:00

ご家族でお誘い合わせて見に来てください。

ほたるを観る会 駐車場案内図



今年の駐車場は校庭（一般）・JA中支所（10日は来賓）のみとなりました。

校庭駐車される方々へ

- 入口（北側県道から）
 - ・「観る会」のため午後7時～9時の間は、車の出入りはしないようご協力ください。
 - ・車は、西向きにして駐車する。

【ほたるは、明るさを嫌います。】

出口（西側から）

ご協力ください。

『ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会』本部役員

会長	森田 弘	前中小PTA会長
副会長	神山 芳典	自治会連絡協議会長
//	青木 幸子	中小学校長
//	松本 和己	中小PTA会長
//	松本 旭巧	創生期の指導者
//	小川 明	創生期の自治会長
理事	熊倉 忠雄	儀式、イベント班
//	新井 幸男	ほたる飼育班
//	田波 耕太郎	広報活動班
//	大出 清成	教育指導班
//	小暮 米作	施設班
//	古口 昌稔	施設班
//	杉田 一典	自治会連絡協議会代表
//	熊倉 弘	//
//	安良岡 博	元自治会連絡協議会代表
//	小川 平八利	//
//	増田 博男	//
//	荒井 静市	//
//	安良岡 佐弘	前中小PTA会長
//	松井 正雄	中小PTA本部役員副会長より
//	柄木 久雄	//
//	小林 まさ子	//
//	木村 優子	//
//	大塚 幸一	前中小学校教頭
//	山道 玲子	前中小学校教務主任
顧問	森田 総一	小山市市議会議員
//	森大 出八マ	//
//	羽金 勝子	元中小学校長
//	大熊 久子	前中小学校長
会計	町田 繁	中小学校教頭
庶務	青木 誠	中小学校教務主任

委員 自治会関係、各種団体関係
 PTA(平成13年度以後)、ボランティア関係

あいさつ通りに灯り 夜店も出るよ!

『ほたるを観る会』のイベント当日(6月10日)は、あいさつ通りにちょうちんの灯りを設置してお祭りの雰囲気盛り上げると共に、歩行の安全を図ることになりました。

また、美田商工会の方々のご協力により「やきそば」「ポテトフライ」の夜店が設けられます。

更に、前PTA役員さんたちによる「とん汁」のチャリティサービスもあります。

お楽しみに!.....

編集後記

広報誌第5号発行にあたり多くのご協力をいただき心より感謝いたします。今年も多くのほたるが飛び交うことを願っています。

<広報班> 田波 耕太郎 田中 佐一 山道 玲子
 池羽 径世 青木 環 福田 昭枝
 小川 智子 小林 まさ 青木 誠